

Excel で作成した表を JWW に貼り付けるには？

Excel の表を JWW に貼り付けるための外部変形プログラムや Excel マクロなどを利用することで可能になります。書籍「やさしく学ぶ jw_cad for Windows②必須テクニック活用編」P.255～では、Excel の1シートを丸ごと JWW 図面に貼付けする外部変形プログラム e-table の使い方を紹介しています。(必要なプログラムも付録 CD-ROM に同梱)

ここでは、それとは別の Excel マクロプログラム Excel to Jw_win の使い方をご紹介します。

e-table の特徴:JWW の外部プログラムであるため、Excel 本体が無くとも Excel データの 1 シートを JWW 図面に貼付けできる。貼付け対象は、1 シート丸ごとになる。(部分的に選択することはできない)

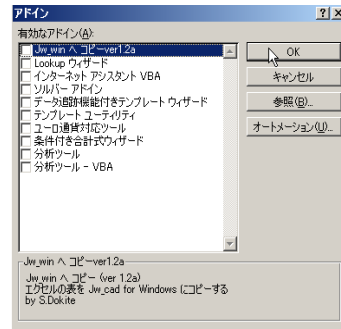
Excel to Jw_win の特徴 : Excel のマクロプログラムであるため、Excel 本体が必要。表の一部(選択した部分)のみを JWW 図面に貼付けできる。

Microsoft の Excel が既にインストールされていることが前提です。

ver3.51 以降の JWW では Vol.89 付録の Ex2Jw12a.exe は使用できません。Ex2Jw12a.exe をインストール済みの場合は、次の手順でアドインを解除した後、インストールを行ってください。

□既存 Excel to Jw_win のアドインを解除する

- ① Excel で、メニューバー[ツール]—「アドイン」を選択。
- ② 表示される「アドイン」ダイアログで、「Jw_win ヘコピー ver1.2a」のチェックを外し「OK」をクリック。
- ③ Excel を終了する。



□Excel to Jw_win をインストールする

自己解凍型ファイル ExcelToJw_win13.lzh を次のフォルダに解凍する (OS によりフォルダが異なる)

解凍先が Windows により、次のように異なるので注意。

Windows Me/98/95 の場合

C:\¥WINDOWS¥Application Data¥Microsoft¥AddIns

Windows2000

C:\¥Documents and Settings¥Administrator¥Application Data¥Microsoft¥AddIns

WindowsXp

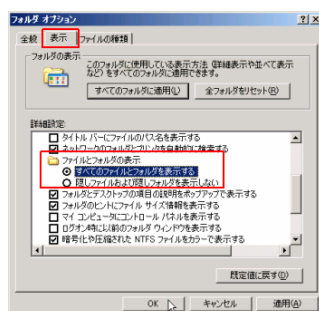
C:\¥Documents and Settings¥ユーザー名¥Application Data¥Microsoft¥AddIns

WindowsXp で「Document and Settings」フォルダ下「ユーザー名」フォルダ下「Application Data」フォルダが表示されない

初期状態では「Application Data」フォルダは、「隠しフォルダ」になっているため、解凍先を指定するウィンドウ上に表示されません。解凍作業を行う前にエクスプローラで以下の設定変更を行ってください。

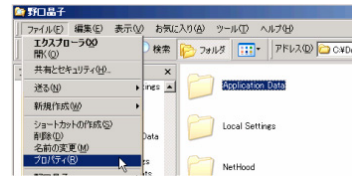
メニューバー [ツール] — 「フォルダオプション」 を選択し、

表示される「フォルダオプション」ダイアログの「表示」タブを開き、「ファイルとフォルダの表示」項目で、「すべてのファイルとフォルダを表示する」を選択し、「OK」ボタンをクリック。

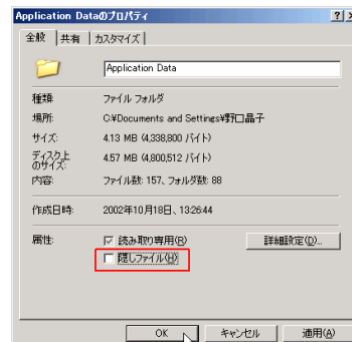


これにより、隠しフォルダに設定されている「Application Data」フォルダがエクスプローラで表示されます。

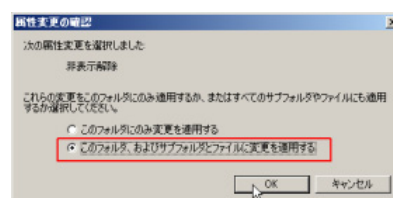
3)「Application Data」フォルダを右クリックし、メニューバー[ファイル]—「プロパティ」を選択。



4)表示される「Application Data のプロパティ」ダイアログの「全般」タブで、「隠しファイル」のチェックを外し、「OK」ボタンをクリック



5)以下の「属性変更の確認」ダイアログが表示されるので、「このフォルダ、およびサブフォルダとファイルに変更を適用する」が選択されている状態で「OK」ボタンをクリック



以上で設定は完了です。インストールを①～行ってください。

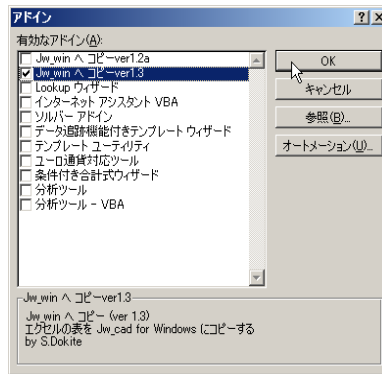
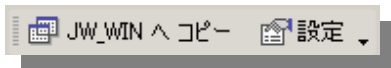
□Excel のアドイン設定を行う

①Excel を起動し、メニューバー [ツール] - 「アドイン」を選択。

②表示される「アドイン」ダイアログで、「Jw_win ヘコピー-ver1.3」にチェックを付け、「OK」を

！「Jw_win へのコピーver1.2a」にチェックを付けないよう注意。

⇒下図のツールバーが表示される。



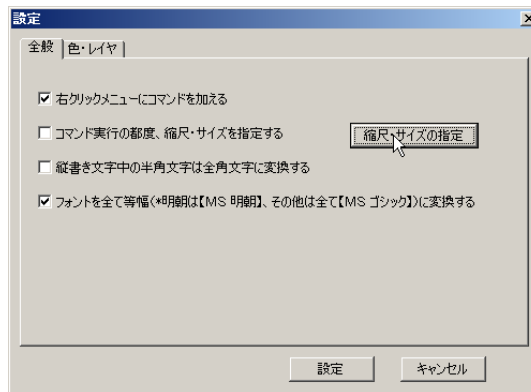
例) Excel の表を S=1/50 の図面に貼り付ける

①Excel のメニューバー [ファイル] - 「開く」で貼付けする Excel データを開く。

②設定 を開き、「設定」ダイアログを開く。

③「全般」タブの「縮尺、サイズの指定」を

CHECK コピー先の図面の縮尺に合わせて、どのような大きさでコピーするかを指定する。ここでは、コピー元を指定する前に②③の操作を行うことで指定するが、「全般」タブの「コマンド実行の都度、縮尺・サイズを指定する」にチェックを付けることで、「JW_WIN へのコピー」をの都度指定することが可能。

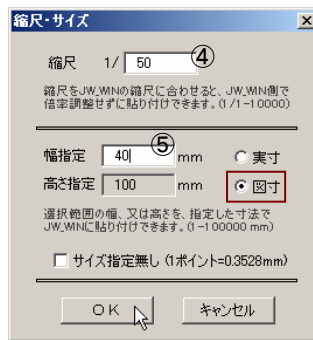


④表示される「縮尺・サイズ」ダイアログの「縮尺」をコピー先の図面と同じ 1/50 とする。

⑤「図寸」にチェックを付け、「幅指定」を 40mm とする。

⑥「縮尺・サイズ」ダイアログの「OK」ボタンを

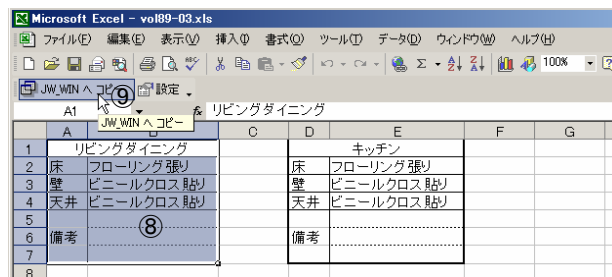
⑦「設定」ダイアログの「設定」ボタンを



⑧ → (左ドラッグ) で JWW 図面にコピーする範囲を選択する。

⑨ ツールバー「JW_WIN へコピー」を

⑩画面右上 最小化ボタン を押し、Excel を最小化し、JWW を起動する。



⑪起動した JWW で、貼付け先の図面を開く。

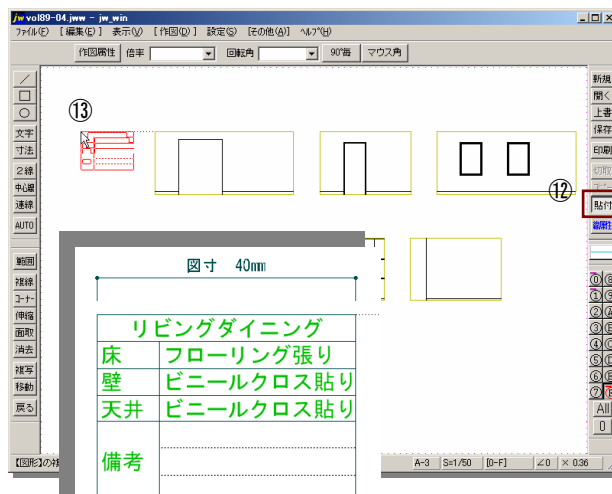
⑫書込レイヤを確認の上、「貼付」を

⇒⑨でコピーした表が、マウスに従い仮表示される。

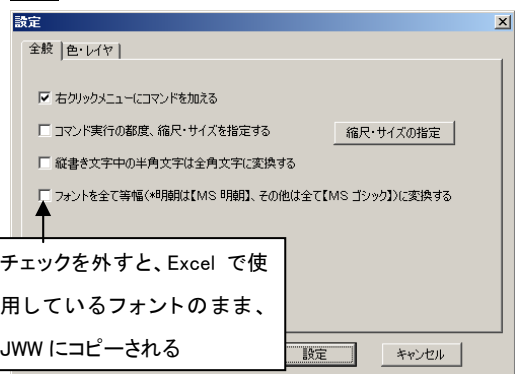
⑬配置位置として、補助線端部を

⇒表の幅を⑤で設定した図寸 40mm として表が作図される。

Hint 表の大きさはコントロールバー「倍率」を指定することでも変更できる。その際「作図属性」の「文字も倍率」にチェックを入れると、枠の大きさ変更に伴い文字も大きさ変更される。



Hint 設定 「設定」ダイアログでの指定



「色・レイヤ」タブ 罫線の線色・文字色・レイヤ等の指定が可能。

